

取組事例

1 市町村の事例

(1) 地域学習に関すること

事業名 [西区☆知り隊・やり隊☆地域デザイン入門講座]

目的 西区において、地域課題を解決する人材を育成するため、グループワークや現場検証を通して地域課題を探っていく。それらを整理し解決するためのプランづくりや課題解決のためのスキルを学ぶ。また、講座を通して仲間づくりを図る。

実施主体 坂井輪地区公民館

参加対象 主に西区在住在勤の人 **参加者数** 延べ98名

回数 6回 **日数** 6日

時間 19時～21時 (5回目は9時15分～16時)

場所 第1・2・3・5回 → 坂井輪地区公民館 (講座室・ホール)
第4回 → 西区公民館 (講座室) 第6回 → 新潟大学 (講義室)

内容 ※ 23年度から24年度にかけて企画運営委員が下記のプログラムを作成した

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|---------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 10月25日 (木) 19:00～21:00 | 開講式・オリエンテーション | 進行：企画運営委員 |
| | 内容・方法 | ・講座の趣旨説明をした後、自己紹介やゲーム、茶話会を開催し、受講生同志の交流を図った。 | |
| 2 | 11月8日 (木) 19:00～21:00 | 西区を知る | 進行：企画運営委員 (ファシリテーター) |
| | 内容・方法 | ・西区地域課、健康福祉課からの西区の情報提供と資料配布 ・4班に分かれてグループワーク。「西区の興味があるところ・強み・弱み」をあげカテゴリ別にまとめた。 | |
| 3 | 11月22日 (木) 19:00～21:00 | 西区の課題をみつける | 進行：企画運営委員 (ファシリテーター) |
| | 内容・方法 | ・第2回目のカテゴリ別に5グループ (①文化・祭・人材A ②文化・祭・人材B ③環境・自然 ④都市計画・防災・交通 ⑤子育て・教育)に分かれて、それぞれの課題をみつけ、第5回に実施する現場検証の訪問先を決めた。 | |

| | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--------------------------|---|---|
| 4 | 12月6日(木) 19:00~21:00 | 聴き上手・感性上手になろう | フリーアナウンサー 遠藤 麻理 様 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・アナウンサーの遠藤麻理さんから体験談を聞き、第5回現場検証で活用するためにインタビューの仕方を学んだ。 ・現場検証のため、グループごとに訪問先、交通手段等を確認した。 | |
| 5 | 12月8日(土) 9:15~16:00 | 現場検証 グループごとに訪問先に出かけてインタビュー | <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター所長 ・西区健康福祉課職員 ・西区建設課職員 ほか |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・現場検証は区バスを利用し、区バスで回れない場所は公共交通機関やタクシーを利用した。 ・現場検証後、グループごとに課題解決のための「地域デザイン立案シート」を作成した。 | |
| 6 | 12月20日(木) 19:00~21:00 | わたしたちの地域デザイン発表 | 司会：企画運営委員 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・「地域デザイン立案シート」をもとに、グループごとに自分たちが考える西区の地域デザインを発表した。 ①文化・祭・人材A➤「食生活を通して世代をつなぐ」 ②文化・祭・人材B➤「輝くまちさがし」 ③環境・自然➤「松づくりはまちづくり」 ④都市計画・防災・交通➤「西区の都市計画・防災・交通」 ⑤子育て・教育➤「にしく子育てSmile・Smileぷらん」 | |

成 果

- ・地域で活動している人たちに声がけし、企画運営委員会会議を開催して話し合いを重ねたことにより、実践的なプログラムを作成することができた。
- ・更に、実際の講座運営を企画運営委員が自ら実施した。その過程でネットワークが築かれ、次のステップに進む足がかりとなった。
- ・講座終了後のアンケートでは「学んだことを今後活かしたいと思った」「学んだテーマについて他の人と話したいと思った」などの質問に、多くの受講生が「そう思う」に○をつけていたことから積極的な姿勢がみられた。
- ・「機会があれば講座の企画に携わってみたい」という人がいたので、来年度の講座に企画運営委員として参加してもらう予定である。

課 題

- ・この講座は、地域のコミュニティ活動の活性化や次世代育成のために実施したものが、具体的に活動する際の拠点づくりや方策など決めることができなかった。これらの人材をどう地域に活かしていくかが今後の大きな課題である。

問合せ先

新潟市教育委員会坂井輪地区公民館（担当：田島かづみ）

TEL 025-269-2043

事業名 〔平成24年度 生涯学習集中セミナー ～おぢやを知る～
「小千谷の食を学ぶコース」〕

目的 いろいろな切り口から見た小千谷に触れて学ぼう。

実施主体 小千谷市生涯学習スポーツ課

参加対象 一般市民

参加者数 延べ201名

回数 3回

日数 3日

時間 延べ5時間

場所 小千谷市総合産業会館「サンプラザ」

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 1 | 10月12日(金) 19:00～21:00 | 「吉田類さんと語る地酒と文化」 | 作家 吉田類 様 |
| | 内容 ・ 方法 | テレビ番組「酒場放浪記」でおなじみの吉田類さんを講師としてお招きし、地酒と文化についての講義をいただく。講義後、受講者との懇親の場を設ける。 19:00～19:40 講義 19:50～21:00 懇親会（飲酒あり） 受講者負担金 3,500円（懇親会費含む） | |
| 2 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
| | 11月6日(火) 19:00～20:30 | 「6次産業化で地域を元気に」 | 新潟経済社会リサーチセンター 内山晴夫 様 |
| 3 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
| | 11月14日(水) 19:00～20:30 | 「おぢやの美味しいものを食べて見ナイト」 | フリーアナウンサー 伊勢みずほ 様 |
| 3 | 内容 ・ 方法 | テレビ番組「水曜見ナイト」でおなじみの伊勢みずほさんをお招きし、地元の美味しい新商品の生産工場等を直接取材していただき、今までの体験事例なども織り交ぜながら、それに基づいて講演をしていただいた。そして、講演後に各商品の試食・試飲販売のブースを設置し、市民の方々におぢやの新しい美味しい物に触れていただく場を設けた。 | |

成果 ・ 講座全体として、受講者は小千谷の食について理解を深めることができた。

課題 ・ 市民にはわかりづらいテーマがあり、構成に課題があった。
・ 講師と受講生との意見交換の場を多くとれる内容を検討する。

問合せ先 小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係（担当：吉田光善）
TEL：0258-83-0077

事業名〔平成24年度 生涯学習集中セミナー ～おぢやを知る～
「外から見た小千谷の歴史コース」〕**目的**

いろいろな切り口から見た小千谷に触れて学ぼう。

実施主体

小千谷市生涯学習スポーツ課

参加対象

一般市民

参加者数

延べ118名

回数

3回

日数

3日

時間

延べ4.5時間

場所

小千谷市民会館

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--------------------------|--|------------------------|
| 1 | 11月2日(金) 19:00～20:30 | 「雪国の建築～小千谷市を中心として～」 | 長岡造形大学教授 平山 育男 様 |
| | 内容・方法 | 小千谷市で行っている歴史的建造物調査事業の現地調査結果概要の報告と、小千谷を含めた雪国の建築様式の特徴を、主に寺社建築から読み解いた。 スライドを多用して日頃見ることのできない建物の構造について、わかりやすく学ぶことができた。 | |
| 2 | 11月16日(金) 19:00～20:30 | 「石造物の見方～身近な石と信仰～」 | 安達桂祐(市生涯学習スポーツ課) |
| | 内容・方法 | 市内に残る石仏や石碑の悉皆調査から見た、江戸時代～明治時代に小千谷に暮らしてきた人々の思いを読み解いた。 石仏を見る面白さをスライドで紹介し、参加者が実際に現場に出てみたくなる作りにして、自分の暮らす地域を知ることの大切さを学んでもらえるようにした。 | |
| 3 | 11月23日(金) 19:00～20:30 | 「小千谷に残る浮世絵を見る」 | 東京大学教授 ロバート・キャンベル 様 |
| | 内容・方法 | 小千谷に残る独特の風習を再確認するため、部屋中に絵紙と呼ばれる浮世絵を貼り合せた軸を展示してその中で講義を行った。小千谷に住んでいると当たり前と感じていたひな祭りの風習が、実は貴重で珍しいものであることを学び、地域の歴史、文化について再確認してもらえた。 | |

成果

・自分が住んでいる町を違った視点から見ることができた。

課題

・町を知るには現地に赴くことも大切であり、座学だけでは伝わらない部分があった。

問合せ先

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係 (担当：吉田光善)

TEL：0258－83－0077

事業名

〔平成24年度 生涯学習集中セミナー ～おぢやを知る～
「小千谷生まれのエネルギーを探るコース」〕

目的

いろいろな切り口から見た小千谷に触れて学ぼう。

実施主体

小千谷市生涯学習スポーツ課

参加対象

一般市民

参加者数

延べ80名

回数

3回

日数

3日

時間

延べ4.5時間

場所

JR東日本信濃川発電所・小千谷市民会館・石油資源開発(株)片貝鉱場

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--------------------------|--|-------------------|
| 1 | 11月8日(木) 14:00～15:30 | 「首都圏の電車を動かす小千谷産の電気」 今人気の水力発電 | JR東日本 信濃川発電所職員 |
| | 内容・方法 | JR東日本信濃川発電所敷地内施設にて、映像資料やパンフレットなどで発電所の概要等を発電所職員から説明を受ける。その後、実際の発電設備も説明付きで見学を行った。 | |
| 2 | 11月15日(木) 14:00～15:30 | 「小千谷産出の天然ガス」 小千谷市の地下深部に眠る天然ガス資源 | 石油資源開発(株)職員 |
| | 内容・方法 | 市民会館にて、石油資源開発(株)長岡鉱業所地質部長より、小千谷における天然ガスの生い立ちと発見の歴史、天然ガス資源の近未来像などを、スライド等を用いて講演を行った。 | |
| 3 | 11月22日(木) 13:30～15:00 | 「小千谷産出の天然ガス」 普段は入れない生産基地見学 | 石油資源開発(株)職員 |
| | 内容・方法 | 石油資源開発(株)片貝鉱場敷地内施設にて、映像資料等により、施設の概要や天然ガス生産の工程などを鉱場職員より説明を受け、その後職員の案内により施設見学を行った。 | |

成果

- ・ 地元の企業・施設見学で、地域に対する新たな見識を提供できた。

課題

- ・ 施設規模が大きいため、見学に十分な時間を確保する。

問合せ先

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係 (担当：吉田光善)

TEL：0258-83-0077

事業名 [妙高「お宝」発見・伝]
(妙高市民大学講座)

目的 妙高市内の「お宝」であるヒトやモノやコトを見聞し、妙高市のよさを再認識することを通して、地域づくりへの理解者や協力者の育成をめざす。

実施主体 主催：妙高市民大学講座実行委員会

参加対象 妙高市民 **参加者数** 延べ194名

回数 8回 **日数** 8日 **時間** 25時間15分

場所 講座によって異なる

内容

| 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---------------------|---|---|
| ① 5月19日 13:00～16:00 | ～妙高市のすばらしさを再発見しよう～ ①開講式・オリエンテーリング | ①金子潤次様、岡田政枝様 |
| ② 6月 9日 9:30～16:00 | ②北国街道巡見 | ②金子潤次様、市職員 |
| ③ 7月18日 13:00～16:00 | ③エコ研修 | ③市職員 |
| ④ 8月23日 13:00～16:00 | ④防災・救急 | ④消防署職員 2名 |
| ⑤ 9月 9日 9:30～16:00 | ⑤北国街道巡見 その2 | ⑤金子潤次様、市職員 |
| ⑥10月16日 13:00～16:00 | ⑥企業訪問 | ⑥妙高砂防事務所職員 |
| ⑦11月14日 8:15～16:30 | ⑦妙高の特産見学研修 | ⑦燕温泉花文 藤巻様 菓心亭かまだ 鎌田様 市職員 |
| ⑧12月14日 12:45～16:30 | ⑧議会傍聴・ワークショップ | ⑧市職員 |
| 内容・方法 | ①オリエンテーション・アドベンチャー・開講式 ②北国街道巡見（新井～関所） ③あらい再資源センター、妙高高原埋立地の見学 ④防災研修・救急法講習 ⑤北国街道巡見（関所～長野県） ⑥雪崩・地すべり研究センター訪問 ⑦妙高あっぱれ逸品の認定の説明・施設見学 ⑧議会傍聴・ワークショップ | 参加者数 ① 29名 ② 25名 ③ 23名 ④ 17名 ⑤ 25名 ⑥ 28名 ⑦ 22名 ⑧ 25名 ※受講者数 35名 |

成果 実行委員会が中心となり講座の企画・運営を行っているが、講座の一部を参加者（5班編成で各班1講座）に企画・運営してもらうことで参画意識を高めることができた。
どの講座も評判がよく、講師のかたの懇切丁寧な説明もあり、参加者が大変喜んでいて、妙高の魅力を再発見するよい機会となり、多くのことを体感・吸収できた講座となった。

課題 これまでは、妙高市のすばらしさを再発見しようというテーマにより施設見学や講習等、見る・聞くことが主な内容となっていたが、参加者からこの講座で学んだことをどのように生かしてもらうかを考えながら今後の講座の内容を検討する必要がある。

問合せ先 妙高市教育委員会 生涯学習課 市民活動支援係 担当：今井
TEL：0255-74-0034 FAX：0255-72-3902
E-mail syogaigakushu@city.myoko.niigata.jp

事業名

〔平成24年度市民大学講座〕

目的

佐渡学（佐渡固有の自然・文化・歴史を学ぶ）を通じ、佐渡の誇りを持ち、新しい佐渡を考えていく。

実施主体

佐渡市教育委員会 社会教育課

参加対象

一般

参加者数

延べ436名

回数

6回

日数

6日

時間

12時間

場所

下記のとおり

内容

| 回 | 期日・時間・会場 | テーマ | 講師等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 6月13日（水） 19:00～21:00 トキのむら 元気館 | （映画）飛べ！ダコタへの思い | 相川地区公民館長 仲田 善夫 様 |
| | 内容 | 佐渡・高千（入川・北立島）海岸に英国軍用輸送機不時着から離陸までを資料をもとに説明。 | |
| 2 | 期日・時間 7月14日（土） 13:30～15:30 佐渡島開発総合センター | テーマ 越後・佐渡の妖怪 | 講師等 新潟県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正 様 |
| | 内容 | 越後の妖怪と佐渡の妖怪について書物の紹介や資料・映像を交えて説明。 | |
| 3 | 期日・時間 9月16日（日） 19:00～21:00 佐渡島開発総合センター | テーマ 【専修大学提携講座】 古墳時代の佐渡 ～畿内から北陸、そして佐渡へ～ | 講師等 専修大学文学部教授 土生田 純之 様 |
| | 内容 | 佐渡の古墳や石製腕飾類を資料・映像を交えて説明。 | |
| 4 | 期日・時間 10月3日（水） 19:00～20:30 アミューズメント佐渡 | テーマ 【ジオパーク講演会と共催】 ジオパークで地域を元気に！ | 講師等 ジオ・インタープリター 今井 ひろこ 様 |
| | 内容 | ジオガイドの現状や取組みに関する説明。 | |
| 5 | 期日・時間 10月11日（木） 19:00～21:00 トキのむら 元気館 | テーマ 【佐渡市市民環境大学と共催】 放鳥トキの状況 | 講師等 環境省佐渡自然保護官事務所 自然保護官 川瀬 翼 様 |
| | 内容 | これまでの放鳥の歩み、そして今を資料・映像を交えて説明。 | |
| 6 | 期日・時間 10月20日（土） 13:30～15:30 佐渡島開発総合センター | テーマ 江戸しぐさに学ぶ 人づくり・まちづくり | 講師等 株式会社マテリアル 代表取締役 柴田 光栄 様 |
| | 内容 | 江戸しぐさと今しぐさの比較。資料と実践で説明。 | |

成 果

・受講生のアンケート結果を参考に、ニーズに応えるためにテーマを佐渡学に絞り、ユニークな内容を取り入れ開催したところ受講生の出席数が大幅に増え、非常に有意義な講座になった。

課 題

・来年度もテーマを佐渡学に絞り開催するため、今年度より一層充実した講座にするため講師の選定が課題となる。

問合せ先

佐渡市教育委員会社会教育課（担当：土屋貴伸） TEL 0259-27-4185

事業名 [旧武石家住宅活用事業 むかしばなしと昔の遊び]

目的 約300年前に建てられたかやぶき民家・弥彦村指定文化財である「旧武石家住宅」を活用して、当時の農家の暮らしを体験し、昔の人の知恵を伝えていく場を提供する。

実施主体 弥彦村教育委員会

参加対象 一般 **参加者数** 30名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 2時間

場所 旧武石家住宅

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--------------------------|--|------------------------------|
| 1 | 11月25日（日） 10:00～12:00 | むかしばなしと昔の遊び | やひこ絵本の会 燕語りの会 地元ボランティア |
| | 内容・方法 | 旧武石家住宅で土間の囲炉裏の火を囲み、語りべの話す地元につながる昔話を聞き、紙芝居を見たり手遊びをしながら、囲炉裏で焼いた川魚の串焼きを食べた。 | |

成果

- ・ 打ち解けた雰囲気の中で、昔の暮らしを実体験してもらうことができた。
- ・ 幅広い年代の参加者による、家族の枠を越えた団欒の場を提供することができた。

課題

- ・ 継続的に講師を確保できる体制づくりを検討する必要がある。

問合せ先 弥彦村教育委員会 教育課（担当：山野上） TEL：0256-94-4311

事業名

〔 阿賀自然教室 〕

目的

豊かな自然を次代に引き継ぐため、阿賀町の特有の植物や植生など自然の特徴を理解し、町民が保護保存について考える機会とする。

実施主体

阿賀町公民館（一部東蒲自然同好会と共催）

参加対象

阿賀町民

参加者数

延べ131名

回数

7回

日数

7日

時間

36時間

場所

阿賀町内

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-----------------------|--|---|
| 1 | 5月12日（土） 6：00～8：30 | 麒麟山探鳥会 | 東蒲原自然同好会 事務局長 渡部 通 様 他2名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・県指定天然記念物「キリン山の植物群落」内の野鳥観察。 ・3班に分かれ、班毎に講師がつき、歩きながら（軽登山）観察する。 ・終了後、全体で観察できた鳥（実見できた鳥、声だけ聞いた鳥）を発表し合う。 | |
| 2 | 5月19日（土） 6：00～8：30 | 月山探鳥会 | 東蒲原自然同好会 事務局長 渡部 通様 他1名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・町指定天然記念物「月山植物群落」内の野鳥観察。 ・2班に分かれ、班毎に講師がつき、歩きながら（軽登山）観察する。 ・終了後、全体で観察できた鳥（実見できた鳥、声だけ聞いた鳥）を発表し合う。 | |
| 3 | 6月2日（土） 9：00～14：00 | 「たきがしら湿原と学習の森」観察 | 東蒲原自然同好会 佐藤 秀一 様 他1名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・人工湿原の「たきがしら湿原」の周辺のブナ林の観察。 ・3班に分かれ、班毎に講師がついた。 ・林道や遊歩道を歩きながら観察する。 | |
| 4 | 7月1日（日） 9：00～15：00 | 万治峠と五十嵐家住宅 | 東蒲原自然同好会 斎藤 久夫 様 他1名 五十嵐家住宅 五十嵐 庄栄 様 |
| | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |

| | | | |
|-----|-------------------------|--|-------------------------------|
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・万治峠は実川集落と荒沢集落を結ぶ峠道。 ・2班に分かれ、班毎に講師がついた。 ・峠道を歩きながら（軽登山）観察する。 ・国指定文化財「五十嵐家住宅」において昼食と説明を受ける。 | |
| 5 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
| | 7月10日(火) 18:00~21:00 | ホテル鑑賞会 | 東蒲原自然同好会 森木田 敬 様 他1名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明を聞き、たきがしら湿原木道で観察する。 | |
| 6 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
| | 9月29日(土) 9:00~15:00 | 実川溪谷と湯ノ島小屋 | 東蒲原自然同好会 事務局長 渡部 通様 他1名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・湯ノ島小屋及び実川溪谷は飯豊山登山口にある避難小屋であるが、国有林内のためゲートがあり普通段車では行くことが出来ない場所。 ・2班に分かれ、班毎に講師がついた。 ・林道を歩きながら観察する。 | |
| 7 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
| | 10月20日(日) 9:00~15:00 | 赤崎山 | 東蒲原自然同好会 佐藤 秀一様 他1名 |
| | 内容・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野川ライン県立自然公園 ・2班に分かれ、班毎に講師がついた。 ・林道やブナ林に設置された遊歩道を歩きながら観察する。 | |
| 成 果 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東蒲自然同好会との共催で行ってきた2回の「野鳥観察会」と、単発事業の「ホテル鑑賞会」を含んでシリーズ化した。また、東蒲自然同好会と共同で企画から立ち上げることができた。 | |
| 課 題 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄現場など負の部分の研修ができないか検討中。 | |

問合せ先

阿賀町教育委員会社会教育課（担当：遠藤佐）TEL：0254-92-3333

事業名 [湯沢の石仏めぐり]

目的 湯沢の石仏をめぐることにより、その時代の背景等を学ぶ。

実施主体 湯沢町公民館

参加対象 町内在住者 **参加者数** のべ29名

回数 2回 **日数** 2日 **時間** 12時間

場所 湯沢町内

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-------|--------------------|---------|
| 1 | 7月17日 | 石仏めぐり | 南雲 良正 様 |
| | 内容・方法 | 土樽地区の石仏の見方、基礎知識（1） | |
| 2 | 10月9日 | 石仏めぐり | 南雲 良正 様 |
| | 内容・方法 | 土樽地区の石仏の見方、基礎知識（2） | |

| | |
|-----------|----------|
| 成果 | ・ 歴史の再発見 |
| 課題 | ・ 特記事項なし |

問合せ先 湯沢町公民館 南雲重幸（TEL 025-784-2460）